

三宅島の地震活動（2000.10～2001.5）

2000年10月から2001年5月までの火山処理装置で決まった震源分布図（図1～3）。前頁図1の枠内の範囲を示したもの。観測点数が少なく、規模も小さいため、震源が決まったものは少なく、震源精度も悪い。なお、マグニチュードは決められていない。S-P時間の頻度分布図（図4）。阿古中観測点でS-P時間が3.0秒以内の地震の活動経過図（図5～9）。

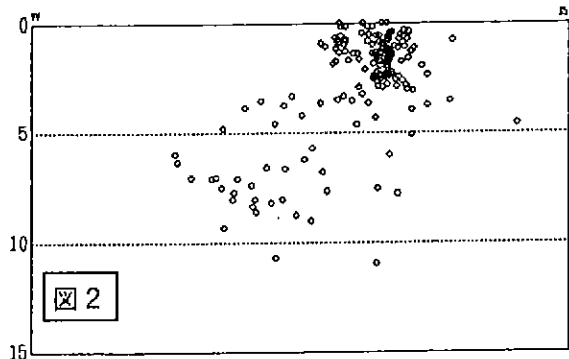
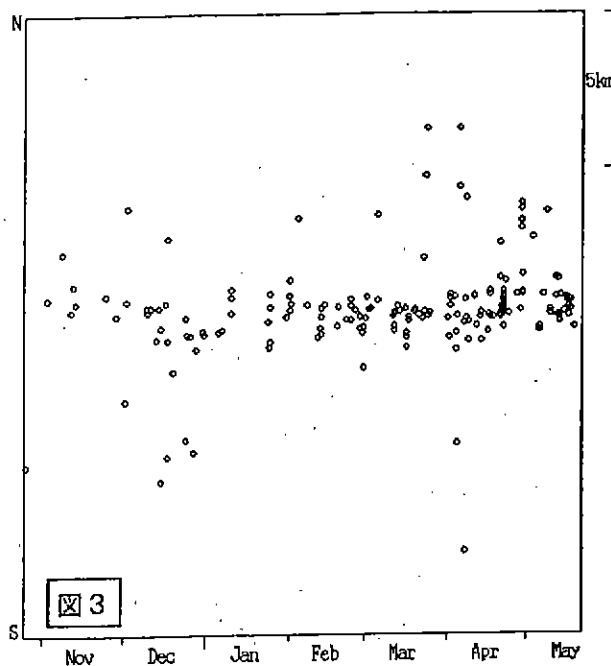
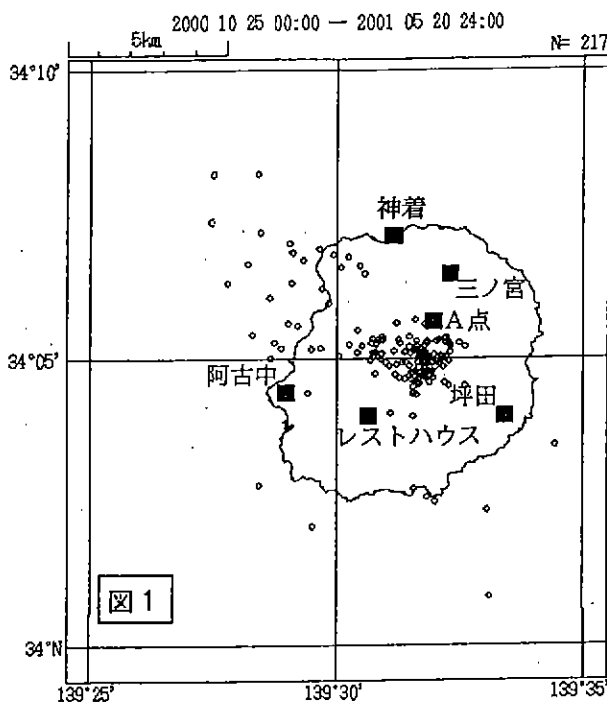


図1：震央分布図：N=217
 図2：東西断面図
 図3：南北方向の時空間分布図

注：観測状況等により、検知される地震の下限及び震源決定される下限は一定に保たれていない（例えば12月3日には多発したが、観測条件が悪く震源決定された地震数は少ない）。

注：地震計の運用期間（2000年10月25日～）
 ・A点：10月25日～1月25日（断続的に欠測）
 ・阿古中、神着、坪田：10月25日～（断続的に欠測）
 ・レストハウス：1月25日～
 ・三ノ宮：3月30日～

図4 S-P時間度数分布（阿古中：N=1343）

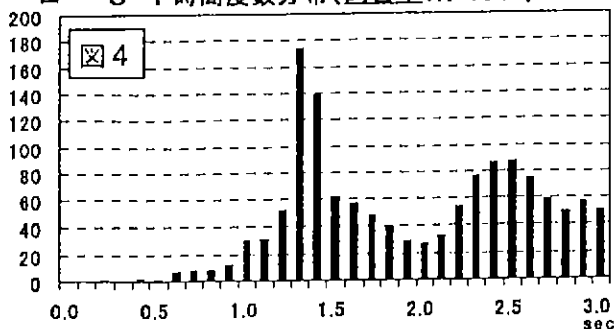


図4：S-P時間の頻度分布図（阿古中観測点）
 2000.10～2001.5 S-P時間≤3.0sec